

品川区は学校におけるICT機器の活用を推進してきました。特別支援学級においてもICT機器を有効に活用することで、個々の状況に応じた学習活動や支援を効果的に進めています。



○タブレット端末 (iPad) の配備

- ・特別支援学級、通級指導学級・特別支援教室に導入
- ・2人に1台の導入：合計285台

○発達段階にあわせてアプリケーションを導入

○電子教科書のインストール

主な取組



通級指導学級での実践例

① 一日の学習や行動を振り返る (自立活動)

その日に学習したことを、写真にまとめました。家族や在籍学級の先生、友達に伝えることを想定して一日を振り返ることで、「伝えたい」というコミュニケーションをとることへの意欲が高まりました。

② 読み書きや自立活動に関するアプリケーションの活用 (教科書の補充指導・自立活動)

教科書の補充指導では、国語や算数に関するアプリケーションを一人一人の習熟度に応じて個別指導で活用しています。また、ビジョントレーニングやソーシャルスキルトレーニングなどに役立つアプリケーションを使って、個別指導の充実を図っています。



みずぶきの じょうずな かまえかた



★かたてで ★ひざをつけて

特別支援学級での実践例

① 学習内容の説明での活用

教員による見本をタブレット端末で学んだ後に、自分の清掃や食事の様子を録画して見ることにより、自己評価の場面で、改善点等を具体的に知ることができました。

② 校外学習および事後学習での活用

校外学習の時にタブレット端末を携行し、カメラ機能を用いて写真を撮りました。事後学習では、記録したものを編集して写真を見せながら互いに発表し合うなど、自立活動として、コミュニケーションスキルの育成にも役立っています。



「体力・運動能力調査」(文部科学省)によると、子どもの体力・運動能力は、昭和60年ごろから現在まで低下傾向が見られます。品川区では、子どもたちが運動の楽しさを味わい、進んで運動し、体力を向上させることをねらいに、「SHINAGAWA アクティブライフプロジェクト」として3つの取組を行っています。

品川スポーツトライアル(全校実施)

取組

各学校は、運動時間が少ない子どもに対して様々な工夫を行っていますが、区では、学校を挙げての取組が必要であるとの考えに立ち、全校で「品川スポーツトライアル」を実施し、運動の日常化を図っています。

成果

運動が苦手な子どもからは「私にもできそう」と、運動する姿が見られました。また、運動が得意な子どもは、「1位を目指すぞ」と、意欲的に取り組みました。



テクニカルアドバイザー(実施校拡大)

取組

子どもたちに「運動ができるようになった」と感じさせるためには、体育の授業を充実させることが重要です。各校では、教員が体育の専門性の高いテクニカルアドバイザーと一緒に授業を行うことで、指導の充実を図っています。

成果

子どもたちが、運動のポイントや動きのコツをつかむことができ、「運動ができた」「運動が楽しい」という声が聞かれました。



ワンミニッツエクササイズ(全校実施)

取組

学校だけでなく、家庭でも運動することをねらいとして、1分間程度で行うことができる簡単な運動事例集「ワンミニッツエクササイズ」リーフレット<ストレッチ系、バランス系、パワー系>等を作成し、運動習慣の確立を目指します。

成果

モデル校では、保護者と共に楽しく取り組むことで、毎日運動する子どもが増えました。



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会では、「ホッケー」、「ビーチバレーボール」が本区で開催されます。学校では、体験や活動を取り入れたオリンピック・パラリンピック教育を通して、おもてなしの心を持ち他者を大切にする人、心身ともに健全な人、日本人としての自覚と誇りを持ち、国際社会で活躍できる人を育てます。

オリンピック・パラリンピック教育の基本的な進め方

東京 2020 オリンピック・パラリンピック教育プログラム愛称「ようい、ドン！」（大会組織委員会決定）



主な取組

各教科等におけるオリンピック・パラリンピック学習

各教科の学習内容や学校行事等の取組を上表の「4つのテーマ」×「4つのアクション」と関連付けて年間35時間程度オリンピック・パラリンピック教育を実施しています。東京 2020 大会に向けて知・徳・体の調和の取れた児童・生徒を育てていきます。

世界ともだちプロジェクト

各校がオリンピック・パラリンピック出場国5か国について、調べ学習を行ったり、交流活動を行ったりします。その過程で日本の文化や他国の文化に触れ、おもてなしの心や和の心、国際的な視野を育成します。区内の大使館や領事館、姉妹都市や友好都市との交流も促進していきます。

競技体験教室

「ホッケー」、「ビーチバレーボール」、「ブラインドサッカー」の3競技について、体験教室を行っています。競技を通してスポーツに親しむだけでなく、選手との交流を通してフェアプレーの精神や粘り強い心を育てるとともに、ブラインドサッカーでは障害者理解を促進します。3年間かけて全校が全ての3競技を体験していきます。



» 問合せ先

品川区教育委員会事務局 〒140-8715 品川区広町2-1-36

指導課 学校地域連携係 Tel.03(5742)6595 Fax.03(5742)6892

【各学校のホームページ】

<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007633.htm>